

セノヲ株式会社

想いを届けるお手伝いを通じて社会に貢献します。

我々の使命はお客様のコミュニケーション達成のお手伝いであり、ギフトはコミュニケーションの潤滑油となります。上質なコミュニケーションは人間関係を円滑にし、社会を円満にし、ひいては世界の平和にまで繋がります。我々の営みは社会や世界平和に貢献しているのだと胸を張って下さい。

社員と家族が誇りに思える、地域に無くてはならない会社となります。

大切な人生から毎日1/3の時間を仕事にあてていただく以上、会社は人生を豊かにする場であるべきです。金銭的・精神的な充実を目指すのはもちろん、ご家族や地域の方、取引先からも応援してもらえる「よい会社」にしましょう。

お客様の人生に伴走する友人、正しく生きる商人であり続けます。

我々はおお客様の人生に伴走するパートナーであり友人です。末永く互いを信頼・尊重し、相乗効果を発揮するためにも、商売十訓の示す「正しく生きる商人」であり続けましょう。



社 名：セノヲ株式会社
住 所：宍粟市山崎町中井14
役 職：代表取締役
氏 名：妹尾 浩志
所 属：北はりま支部
同友会入会：2019年10月

■事業内容及び沿革

セノヲ株式会社は、実店舗及びネットショップでギフトの販売、小売などの事業を行っています。売れ筋は、揖保乃糸や地元商品の組み合わせ、カタログギフトなどです。

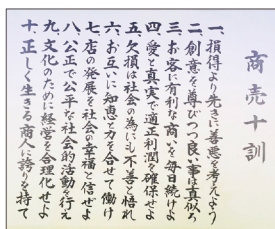
1949年に祖父が創業。1970年代までは陶器店を基盤としていました。その後、父が引継ぎ、ギフト商品の取扱開始。2017年に代表を交代し、現在に至ります。

■経営理念の成文化について

父は社訓のかわりに、商業界の「商売十訓」を掲げていましたが、経営理念は作っていませんでした。役員になった頃、顧問会計事務所主催の経営塾で経営理念の大切さを学びましたが、作ってはみたものの、どこか腹に落ちずに10年の月日が流れていました。

代表取締役に就任後、同友会と出会い、経営指針成文化勉強会に参加させて頂くこととなります。

商売人としてのありかたは、幼い頃から祖父や父を見てきましたので、自身の中で根付いていました。それを、社員にも長い時間をかけて、肌で感じて学んでもらう必要がありましたので、成文化する事を決めたのです。この成文化勉強会で、ようやく腹に落ちるものが出てきたと感じています。



■経営理念への思い

私は3代目ですので、商売が当たり前の環境で育ちました。

両親が働く姿を毎日見ていましたし、小学校の頃から「てんびんの詩」のビデオを何度も観たりと、ごく自然に商売人のあり方を学んできました。もともと社風は良く、離職率も低かった為、創業者のように野心や理念を掲げるというよりも、先代から受け継いできた、商売人のあり方や良い社風を成文化するイメージで経営理念を作り上げました。

またギフトの仕事は、十訓にも「損得よりも先に善悪を考えよう」とありますように、モラルが最も重要視される商売です。会社の原点である「商売十訓」には、それら正しく生きる商人として必要な事が詰まっていたので、弊社ではこれを引き継ぎ、行動指針として掲げることにしました。

■今後のビジョン

今後のビジョンとしては、プライベートブランド商品の開発。特に地元で眠っている逸品の製品化を行って参ります。一方で、ギフトにこだわらず、既存顧客に新たな商品やサービスを提供できる事業展開も模索しております。また建物の老朽化が著しい為、新社屋に移転したい思いもありますので、経営理念のもと、社員一同精進して参ります。

